

インド債券ファンド (毎月分配型)

【運用報告書(全体版)】

第25作成期 (2024年5月28日から2024年11月26日まで)

第 145 期 / 第 146 期 / 第 147 期
決算日2024年6月26日 決算日2024年7月26日 決算日2024年8月26日

第 148 期 / 第 149 期 / 第 150 期
決算日2024年9月26日 決算日2024年10月28日 決算日2024年11月26日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2012年5月31日から2027年5月26日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 Kインドア・インカム・ファンド (クラスG) 米ドル建て等のインドの債券等 コタック・フレキシィー・デット・ファンド (クラスA) インドルピー建ておよび米ドル建て等のインドの債券等
当ファンドの運用方法	■主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ■実質的な運用は、現地の債券運用に強みを持つコタック・マヒンドラ・グループが行います。 ■原則として、対円で為替ヘッジは行いません。
組入制限	■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■毎月26日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価損益を含みません)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資し、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

インド債券ファンド（毎月分配型）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			投 資 信 託 入 率 証 券 組 比	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 分配金	期 中 騰落率		
121期 (2022年 6月27日)	円 4,613	円 40	% 4.5	% 95.9	百万円 26,512
122期 (2022年 7月26日)	4,571	40	△0.0	96.9	26,170
123期 (2022年 8月26日)	4,567	40	0.8	95.8	25,895
124期 (2022年 9月26日)	4,589	40	1.4	96.1	25,457
125期 (2022年 10月26日)	4,626	40	1.7	96.3	25,489
126期 (2022年 11月28日)	4,433	40	△3.3	96.7	24,309
127期 (2022年 12月26日)	4,194	25	△4.8	96.9	22,926
128期 (2023年 1月26日)	4,188	25	0.5	95.2	22,780
129期 (2023年 2月27日)	4,211	25	1.1	97.0	22,683
130期 (2023年 3月27日)	4,142	25	△1.0	97.2	22,250
131期 (2023年 4月26日)	4,289	25	4.2	96.6	22,931
132期 (2023年 5月26日)	4,393	25	3.0	97.3	23,372
133期 (2023年 6月26日)	4,541	25	3.9	96.3	24,139
134期 (2023年 7月26日)	4,481	25	△0.8	96.3	24,059
135期 (2023年 8月28日)	4,536	25	1.8	96.8	24,330
136期 (2023年 9月26日)	4,551	25	0.9	96.5	24,490
137期 (2023年 10月26日)	4,543	25	0.4	96.8	24,398
138期 (2023年 11月27日)	4,586	25	1.5	96.5	24,708
139期 (2023年 12月26日)	4,479	25	△1.8	96.7	24,218
140期 (2024年 1月26日)	4,630	25	3.9	97.4	24,898
141期 (2024年 2月26日)	4,718	25	2.4	96.6	25,312
142期 (2024年 3月26日)	4,710	25	0.4	95.1	25,183
143期 (2024年 4月26日)	4,791	25	2.3	97.0	25,508
144期 (2024年 5月27日)	4,881	25	2.4	95.7	25,857
145期 (2024年 6月26日)	4,959	25	2.1	96.7	26,239
146期 (2024年 7月26日)	4,751	25	△3.7	97.3	24,963
147期 (2024年 8月26日)	4,556	25	△3.6	97.1	23,950
148期 (2024年 9月26日)	4,538	25	0.2	97.8	23,337
149期 (2024年 10月28日)	4,713	25	4.4	96.9	23,938
150期 (2024年 11月26日)	4,724	25	0.8	96.6	23,795

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

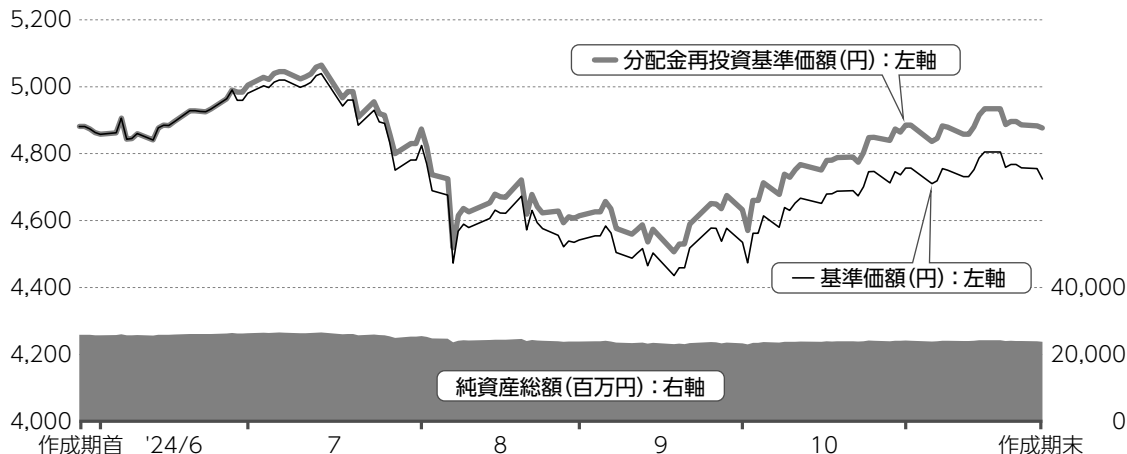
決算期	年 月 日	基 準 価 額		投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第145期	(期 首) 2024年5月27日	円 4,881	% —	% 95.7
	5月末	4,858	△0.5	96.7
	(期 末) 2024年6月26日	4,984	2.1	96.7
第146期	(期 首) 2024年6月26日	4,959	—	96.7
	6月末	4,980	0.4	96.7
	(期 末) 2024年7月26日	4,776	△3.7	97.3
第147期	(期 首) 2024年7月26日	4,751	—	97.3
	7月末	4,824	1.5	96.8
	(期 末) 2024年8月26日	4,581	△3.6	97.1
第148期	(期 首) 2024年8月26日	4,556	—	97.1
	8月末	4,542	△0.3	97.2
	(期 末) 2024年9月26日	4,563	0.2	97.8
第149期	(期 首) 2024年9月26日	4,538	—	97.8
	9月末	4,535	△0.1	97.8
	(期 末) 2024年10月28日	4,738	4.4	96.9
第150期	(期 首) 2024年10月28日	4,713	—	96.9
	10月末	4,757	0.9	96.9
	(期 末) 2024年11月26日	4,749	0.8	96.6

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2024年5月28日から2024年11月26日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,881円
作成期末	4,724円 (当作成期既払分配金150円(税引前))
騰落率	-0.1% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

基準価額の主な変動要因（2024年5月28日から2024年11月26日まで）

投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの債券等に投資しました。実質組入外貨建資産については、米ドル建ての債券に投資を行った場合は実質的にインドルピー建てとなるよう為替取引を行いました。対円での為替ヘッジは行いませんでした。

上昇要因

- 米国の長期金利(10年国債利回り)がインフレ鎮静化などを背景に低下したことから、米ドル建てインド債券の価格が上昇したこと
- インドの長期金利が、海外投資家からの投資需要などを背景に低下したことから、インドルピー建てインド債券の価格が上昇したこと

下落要因

- インドルピーが米ドルに対して軟調に推移したことや、日米金利差が縮小する中、米ドル安・円高が進んだ結果、インドルピー/円相場が下落したこと
- 期末にかけて、米検察当局がアダニ・グループの会長らを起訴したとの報道を受けて、保有するアダニ・グループの債券の価格が下落したこと

投資環境について（2024年5月28日から2024年11月26日まで）

インドルピー建てインド債券市場と米ドル建てインド債券市場は共に上昇しました。為替市場では、インドルピーは円に対して下落しました。

債券市場

インドルピー建てインド債券市場は上昇しました。

CPI（消費者物価指数）は期中には緩やかに低下しましたが、期末にかけては食料品を中心に上昇しました。6月にJPモルガン新興国債券指数への組入れが開始され、海外投資家からのインド債券への資金流入期待もあり、期を通して見るとインド国債利回りは低下しました。

米ドル建てインド債券市場は上昇しました。

米国債利回りは、インフレ指標が鈍化してきたことを背景にFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げに対する期待が高まり、低下しました。FRBは9月に0.5%の政策金利の引き下げを実施しました。10月以降は米大統領選挙に対する思惑から国債利回りは上昇に転じ、低下幅を縮小しました。一方、クレジットスプレッド（国債に対する上乗せ金利）は概ね横ばいでの推移となりました。

為替市場

インドルピーは対円で下落しました。

インドルピーは、米ドルに対して軟調に推移しました。米ドル/円相場は、米金利の低下や日銀の政策金利引き上げの影響で円高となりました。その後、米金利が上昇に転じたことや米国と日本の金利差を背景に円安に転じ、下落幅は縮小しました。その結果、インドルピー/円相場は下落しました。

インド債券ファンド（毎月分配型）

ポートフォリオについて（2024年5月28日から2024年11月26日まで）

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシー・デット・ファンド(クラスA)」を高位に組み入れることにより運用を行い、組入比率(現金を除く)は70%/30%から60%/40%へと変更しました。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

主に米ドル建てのインド社債に投資しました。また、実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行いました。期初はデュ

レーション(投資資金の平均回収期間：金利の変動による債券価格の感応度)を抑制する方針としましたが、期末にかけて引き上げました。

コタック・フレキシー・デット・ファンド (クラスA)

主にインドルピー建てのインド債券に投資しました。期中に海外投資家からのインドルピー建てインド国債への投資需要が利回りを押し下げるとみてデュレーションを引き上げましたが、期末にかけて引き下げました。ポートフォリオの構成は引き続き国債、国営企業債、社債を中心としました。

ベンチマークとの差異について（2024年5月28日から2024年11月26日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

分配金について（2024年5月28日から2024年11月26日まで）

期間の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、以下の通りといたしました。
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	(0.50%)	(0.52%)	(0.55%)	(0.55%)	(0.53%)	(0.53%)
当期の収益	25	24	24	18	25	25
当期の収益以外	-	0	0	6	-	-
翌期繰越分配対象額	576	576	576	569	572	573

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「K インディア・インカム・ファンド(クラスG)」および「コタック・フレキシィ・デット・ファンド(クラスA)」の高位組入れを通じて、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。資産配分に関しては、デュレーションが中程度の米ドル建て債券ファンドに60%、デュレーションが長めのインドルピー建て債券ファンドに40%を配分しており、ファンドの信用リスクは引き続き抑制水準を維持する方針です。

K インディア・インカム・ファンド (クラスG)

米国では、インフレの正常化が進行しています。労働市場も落ち着いており、利下げが継続される見通しです。長期金利も金融緩和に伴い緩やかに低下していく展開を予想します。このような見通しの下、デュレーションについては中程度に維持する方針です。

コタック・フレキシィ・デット・ファンド (クラスA)

インド国内のインフレ見通しは安定的であることが明確であり、また海外投資家からの

インド債券への資金流入も期待されることから、インドルピー建て債券ファンドは長めのデュレーションを維持する方針です。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

1万口当たりの費用明細（2024年5月28日から2024年11月26日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	26円	0.548%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は4,735円です。
（投信会社）	(7)	(0.147)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(18)	(0.385)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	-	-	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(c) 有価証券取引税	-	-	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(-)	(-)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(-)	(-)	
（投資信託証券）	(-)	(-)	
(d) その他費用	0	0.002	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(-)	(-)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(-)	(-)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	26	0.550	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

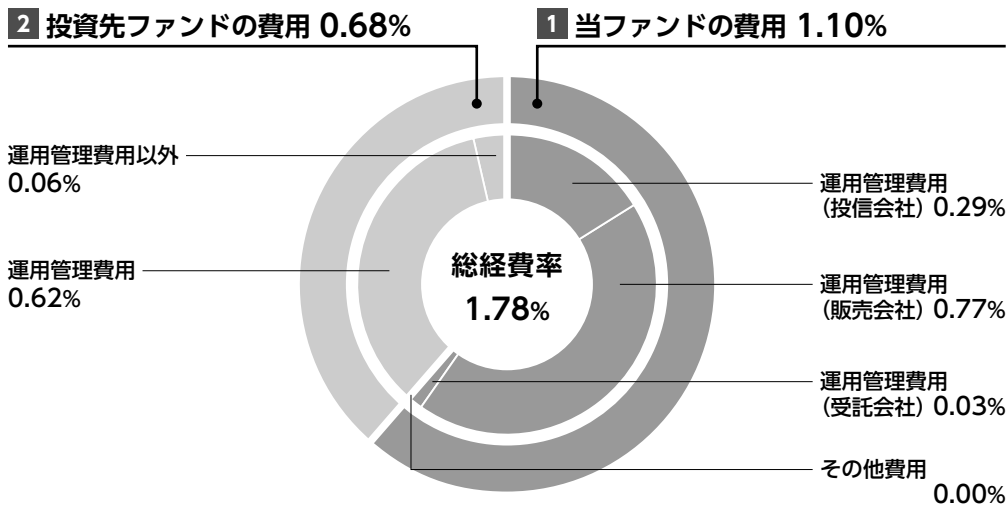
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率(1 + 2)	1.78%
1 当ファンドの費用の比率	1.10%
2 投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

※ **1**の各費用は、前掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、シェアクラスの経費率です。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を、目論見書に記載している料率にもとづき区別しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.78%です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2024年5月28日から2024年11月26日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	110,371	165,000	2,120,606	2,906,000
	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	113,169	2,365,000	25,944	567,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等 (2024年5月28日から2024年11月26日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年5月28日から2024年11月26日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2024年11月26日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	作成期首	作 成 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
	口	口	千円	%
K インディア・インカム・ファンド（クラスG）	11,675,986.888	9,665,752.018	13,772,083	57.9
コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）	319,506.365	406,732.006	9,223,939	38.8
合 計	11,995,493.253	10,072,484.024	22,996,022	96.6

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 投資信託財産の構成

(2024年11月26日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 証 券	22,996,022	95.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,012,368	4.2
投 資 信 託 財 産 総 額	24,008,391	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年6月26日) (2024年7月26日) (2024年8月26日) (2024年9月26日) (2024年10月28日) (2024年11月26日)

項 目	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末	第150期末
(A) 資 産	26,492,777,053円	25,206,098,395円	24,218,239,470円	23,781,504,152円	24,191,445,704円	24,008,391,100円
コール・ローン等	1,116,503,347	919,393,859	955,907,058	952,336,669	1,005,628,612	867,381,921
投資証券(評価額)	25,376,273,706	24,286,704,536	23,262,332,412	22,829,167,483	23,185,817,092	22,996,022,899
未 取 配 当 金	-	-	-	-	-	144,986,280
(B) 負 債	253,487,747	242,353,456	267,889,077	444,419,104	253,264,417	213,343,883
未 払 収 益 分 配 金	132,291,399	131,363,646	131,415,010	128,557,478	126,981,260	125,921,875
未 払 解 約 金	97,652,660	87,157,216	113,482,412	293,726,645	103,269,319	66,275,956
未 払 信 託 報 酬	23,438,232	23,725,844	22,888,673	22,035,831	22,910,752	21,051,337
そ の 他 未 払 費 用	105,456	106,750	102,982	99,150	103,086	94,715
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	26,239,289,306	24,963,744,939	23,950,350,393	23,337,085,048	23,938,181,287	23,795,047,217
元 本	52,916,559,637	52,545,458,796	52,566,004,356	51,422,991,519	50,792,504,066	50,368,750,015
次 期 繰 越 損 益 金	△26,677,270,331	△27,581,713,857	△28,615,653,963	△28,085,906,471	△26,854,322,779	△26,573,702,798
(D) 受 益 権 総 口 数	52,916,559,637口	52,545,458,796口	52,566,004,356口	51,422,991,519口	50,792,504,066口	50,368,750,015口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	4,959円	4,751円	4,556円	4,538円	4,713円	4,724円

※当作成期における作成期首元本額52,979,918,655円、作成期中追加設定元本額2,111,757,733円、作成期中一部解約元本額4,722,926,373円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 損益の状況

(自2024年5月28日) (自2024年6月27日) (自2024年7月27日) (自2024年8月27日) (自2024年9月27日) (自2024年10月29日)
 至2024年6月26日 至2024年7月26日 至2024年8月26日 至2024年9月26日 至2024年10月28日 至2024年11月26日

項 目	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
(A) 配 当 等 収 益	152,856,037円	152,767,612円	153,192,231円	117,454,918円	145,745,202円	144,870,727円
受 取 配 当 金	152,809,170	152,726,615	153,068,111	117,342,468	145,626,331	144,748,733
受 取 利 息	46,867	40,997	124,120	112,450	118,871	121,994
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	414,627,105	△ 1,089,840,710	△ 1,019,981,340	△ 58,864,111	890,736,233	57,764,567
売 買 益	415,668,011	1,810,082	4,538,314	74,715,518	898,728,373	113,024,905
売 買 損	△ 1,040,906	△ 1,091,650,792	△ 1,024,519,654	△ 133,579,629	△ 7,992,140	△ 55,260,338
(C) 信 託 報 酬 等	△ 23,543,688	△ 23,832,594	△ 22,991,655	△ 22,134,981	△ 23,013,838	△ 21,146,052
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	543,939,454	△ 960,905,692	△ 889,780,764	36,455,826	1,013,467,597	181,489,242
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 5,843,426,925	△ 5,362,537,608	△ 6,393,489,010	△ 7,228,370,612	△ 7,212,460,392	△ 6,235,294,649
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△21,245,491,461	△21,126,906,911	△21,200,969,179	△20,765,434,207	△20,528,348,724	△20,393,975,516
(配 当 等 相 当 額)	(2,988,394,553)	(2,967,897,628)	(2,969,791,200)	(2,905,467,379)	(2,869,976,037)	(2,846,294,977)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△24,233,886,014)	(△24,094,804,539)	(△24,170,760,379)	(△23,670,901,586)	(△23,398,324,761)	(△23,240,270,493)
(G) 合 計 (D + E + F)	△26,544,978,932	△27,450,350,211	△28,484,238,953	△27,957,348,993	△26,727,341,519	△26,447,780,923
(H) 収 益 分 配 金	△ 132,291,399	△ 131,363,646	△ 131,415,010	△ 128,557,478	△ 126,981,260	△ 125,921,875
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△26,677,270,331	△27,581,713,857	△28,615,653,963	△28,085,906,471	△26,854,322,779	△26,573,702,798
追 加 信 託 差 損 益 金	△21,245,491,461	△21,126,906,911	△21,200,969,179	△20,765,434,207	△20,528,348,724	△20,393,975,516
(配 当 等 相 当 額)	(2,988,394,553)	(2,967,897,628)	(2,969,791,200)	(2,905,467,379)	(2,869,976,037)	(2,846,294,977)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△24,233,886,014)	(△24,094,804,539)	(△24,170,760,379)	(△23,670,901,586)	(△23,398,324,761)	(△23,240,270,493)
分 配 準 備 積 立 金	64,642,698	61,390,042	59,592,427	24,857,464	40,018,893	43,276,781
繰 越 損 益 金	△ 5,496,421,568	△ 6,516,196,988	△ 7,474,277,211	△ 7,345,329,728	△ 6,365,992,948	△ 6,223,004,063

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
(a) 経費控除後の配当等収益	146,513,367円	128,935,018円	130,200,576円	95,319,937円	142,509,456円	129,753,414円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	2,988,394,553	2,967,897,628	2,969,791,200	2,905,467,379	2,869,976,037	2,846,294,977
(d) 分配準備積立金	50,420,730	63,818,670	60,806,861	58,095,005	24,490,697	39,445,242
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,185,328,650	3,160,651,316	3,160,798,637	3,058,882,321	3,036,976,190	3,015,493,633
1 万口当たり当期分配対象額	601.95	601.51	601.30	594.85	597.92	598.68
(f) 分配金	132,291,399	131,363,646	131,415,010	128,557,478	126,981,260	125,921,875
1 万口当たり分配金	25	25	25	25	25	25

■ 分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金 (税引前)	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期	第150期
	25円	25円	25円	25円	25円	25円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金（特別分配金）」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）
形態	ケイマン籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドルピー建て以外のインドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
スイング・プライス	ファンドの買付け、売却がポートフォリオに重要な影響を与えられと考えられる場合、予想される取引スプレッド、コスト、その他の要因を考慮して、その売買価格が調整されることがあります。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「Kインディア・インカム・ファンド（クラスG）」をシェアクラスとして含む「Kインディア・インカム・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2023年9月30日に終了した期間)

(単位：米ドル)

投資収益	
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る受取利息	5,108,878
損益を通じて公正価値で測定される投資に係る純損益	(1,717,396)
デリバティブに係る未実現純損益	2,249,863
為替に係る純損益	19,188
	<hr/>
	5,660,533
	<hr/>
費用	
管理事務代行報酬	25,900
運用報酬	707,452
保管報酬	15,451
専門家報酬	15,250
その他費用	16,162
監査報酬	13,500
規制関連報酬	6,552
	<hr/>
	800,267
	<hr/>
金融費用控除前投資純損益	4,860,266
金融費用	
償還可能参加型受益証券保有者に支払った分配金	13,681,791
償還可能参加型受益証券保有者に帰属する純資産の変動	(8,821,525)

■ 組入上位銘柄

(基準日：2023年9月27日)

	銘柄名	通貨	クーポン	償還日	組入比率
1	Indian Railway Finance 3.249% 13/02/2030	USD	3.249%	2030/02/13	9.7%
2	ICICI Bank 3.80% 14/12/2027	USD	3.800%	2027/12/14	8.0%
3	Reliance Industries Ltd 2.875% 12/01/2032	USD	2.875%	2032/01/12	7.0%
4	Hindustan Petroleum Corp 4.00% 12/07/2027	USD	4.000%	2027/07/12	6.9%
5	Rural Electrification Corporation 5.625% 11/04/2028	USD	5.625%	2028/04/11	5.9%
6	EXIM Bank 3.875% 01/02/2028	USD	3.875%	2028/02/01	5.0%
7	EXIM Bank 5.50% 18/01/2033	USD	5.500%	2033/01/18	4.5%
8	ONGC 3.75% 27/07/2026	USD	3.750%	2026/07/27	4.4%
9	Ultratech Cement 2.80% 16/02/2031	USD	2.800%	2031/02/16	4.3%
10	Adani Ports and Special 3.375% 24/07/2024	USD	3.375%	2024/07/24	4.1%
	全銘柄数			26銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。

インド債券ファンド（毎月分配型）

投資信託証券の概要

ファンド名	コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）
形態	モーリシャス籍会社型投資信託（円建て）
主要投資対象	主として、インドの債券等
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として、インドの債券等に投資することにより、安定的な金利収益の確保と信託財産の成長を目指します。 ・インドルピー建て以外のインドの債券等に投資した場合には実質的にインドルピー建てとなるように為替取引を行います。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。 ・非流動性資産への投資割合は、純資産総額の15%以下とします。
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。
運用管理費用	<p>純資産総額に対して年0.64%程度*</p> <p>*上記の料率には、運用報酬、管理費用、保管費用などに関する費用を含みます。また、年間最低報酬額や取引ごとにかかる費用等が定められている場合があるため、純資産総額の規模や取引頻度等によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
その他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
投資顧問会社	コタック・マヒンドラ・アセット・マネジメント（シンガポール）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「コタック・フレキシィー・デット・ファンド（クラスA）」をシェアクラスとして含む「コタック・フレキシィー・デット・ファンド」の情報を委託会社において抜粋、要約して翻訳したものを記載しています。

インド債券ファンド（毎月分配型）

■ 包括利益計算書 (2024年3月31日に終了した期間)

(単位：米ドル)

投資収益	
利息収入	2,452,319
損益を通じて公正価値で測定される金融資産にかかる純損益	1,558,544
為替にかかる純未実現利益	6,155
	4,017,018
費用	
為替にかかる未実現純損益	—
投資運用報酬及び保管報酬	283,042
その他の営業費用	15,878
管理事務代行報酬	17,000
監査報酬	15,000
専門家報酬	21,460
規制関連報酬	6,450
営業費用合計	358,830
税引前償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増減額	3,658,188
所得税控除	(195,131)
償還可能参加型持分保有者に帰属する純資産の増減額	3,463,057

■ 組入銘柄

(基準日：2024年3月29日)

	銘柄名	通貨	利率	償還日	比率
1	7.18% GOI 14/08/2033	INR	7.18%	2033/8/14	34.0%
2	7.25% GOI 12/06/2063	INR	7.25%	2063/6/12	24.0%
3	7.18% GOI 24/07/2037	INR	7.18%	2037/7/24	14.4%
4	7.74% DME Developments Limited 04/12/2038	INR	7.74%	2038/12/4	9.5%
5	8.34% FRB GOI 22/09/2033	INR	8.34%	2033/9/22	7.9%
6	7.75% HDFC Bank (earlier Housing Development Finance Corporation Limited) (SR US006) 13/06/2033	INR	7.75%	2033/6/13	4.1%
7	7.59% THDC India Limited 03/10/2026	INR	7.59%	2026/10/3	4.0%
8	9.46% Power Finance Corporation Limited (SR 76 B) 01/08/2026	INR	9.46%	2026/8/1	0.3%
9	9.45% Power Finance Corporation Limited (SR 77-B) 01/09/2026	INR	9.45%	2026/9/1	0.1%
	全銘柄数			9銘柄	

※比率は、純資産総額に対する割合です。